

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成29~30年度:計画作成主体:真室川町農業再生協議会)(山形県)

取組の概要

- 対象品目 : 露地野菜(ねぎ)
(産地面積140.07ha)
- 主な取組主体 : 真室川町野菜生産組合ねぎ部会
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
基準(H28年度) 690千円/10a
目標(R2年度) 764千円/10a
- 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース:長ねぎ選別機、ネギネギトリマー、コンプレッサー、ラジコン動噴)



山形県
真室川町
真室川町全域

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

当地域では、夏秋ねぎの産地形成が図られているが、農業者の高齢化が進む中、産地を維持・拡大するには、機械導入による省力化、作業効率の向上等により、消費者ニーズに沿った付加価値の高い農産物を安定して生産できる体制整備が必要である。

天候に左右されない生産管理、安全安心な品質のねぎの安定出荷で地域ブランドの更なる定着を図ることにより、販売額の増加を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 水田転作によりねぎの作付面積を拡大する。
- ② 長ねぎ選別機を導入し、光センサー選別法による省力化と作業効率向上により出荷量を増加させる。
- ③ ネギネギトリマー及びコンプレッサーを導入することで、収穫したねぎを自動で「根切り」、「皮むき」を行い調整・出荷作業の効率化を図る。
- ④ ラジコン動噴の導入により防除管理を徹底し、出荷量を増加させる。

産地体制

- ・山形県最上総合支庁 農業技術普及課 農業振興課
- ・真室川町
- ・JA真室川 (JAおいしいもがみ)

指導・助言

- ・取組主体と協議会、行政やJAとの情報共有(取組状況、販売等)

- 真室川町農業再生協議会
- ① 計画の策定・管理
 - ② 取組計画への助言

情報共有

- 取組主体
- ① 取組計画の作成
 - ② 取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・若手ねぎ農家向けの研修会を開催し、意見交換や栽培技術研修を通して、産地品質の高位平準化を企図

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ① 徹底した防除管理により出荷量が増加
- ② 収穫、出荷作業の省力化、自動化により、高品質な出荷物の安定供給を実現

【事業実施による間接効果】

- ① 生産規模拡大が可能に
- ② 成功した取組例として、地域に波及

